

里母として学んだこと NO2

病気の早期発見、早期治療一番につながる大きな要素として。

おねしょ（夜尿）お漏らし及び排便について。

★満一歳までの排尿排便はオムツで行う。

注意点として、色、匂い、分泌物の確認。

中でもミルクの子と母乳の子では色や匂い分泌物が違う。

良く育児書などにかかれていることが現実的。

異常がある場合や不信感がある時は医療機関に必ず相談をすること。

乳幼児によって違いがあるので過信は禁物。

★満二歳過ぎ頃になったらそろそろ排尿感や排便感が出始めてくる。

だが、乳児の性格、及び、男女の違いや環境、其々の感じる感覚に

由っても異なるので注意。

その時に尿の病気なども含んでいる場合もあるので気を付けて見ていく。

異常がなければ、このころから乳児の様子を見ながら状況に合わせてトイレトレーニングを無理なく始めていく。

★トイレトレーニングが始まる時の注意として

水分の量と飲んだ時間帯や食事の量を測り、排泄する量を確認しながら幼児の排泄の特徴を知ること。

食べ物に含まれる水分や食品の種類によっても排便の量や回数が違ってくる。

性格的に神経質な場合、頻繁に尿意を催す事も多い。便秘がち、だったり下痢など引き起こす事もある。（あくまでも里母としての体験上ですので、すべてではありません）

排便よりも、おねしょ（夜尿）や、お漏らしは其々の子によっては年齢に関係なく長引く場合が多いこともある。

そのような時期には、其々の幼児によっても異なるので気長にトイレトレーニングをするのだが、異常を感じた場合には過信をしないで医療機関とも相談をすること。

また、この時期は多感な時期でもあり、乳幼児の発達を見ながら達成感を味あわせてあげると良い効果に繋がることも多い。